

学校等における取組について

1. 学校・幼稚園・保育所等の校庭・園庭等における空間放射線量率の測定

県が市町村に貸与した測定器等により、県内全域の学校・幼稚園・保育所等の校庭・園庭等の空間放射線量率を測定し、結果を公表した。

- (1) 測定期間 おおむね平成23年6月から7月
- (2) 測定施設数 1,622施設
- (3) 測定の高さ 小学校以下は50 cm、中学校以上は1 m
- (4) 測定結果 平均：0.13 μ Sv/h 最大値：0.76 μ Sv/h 最小値：0.04 μ Sv/h

2. 学校の屋外プールの水質サンプル検査

県内の小・中・高等学校の屋外プールの水質について、サンプル測定を実施した。

- (1) 検査期間等 平成23年6月中旬から8月中旬にかけて3回実施
- (2) 検査実施校 49校（市町村立小・中学校42校（原則各市町村1校（仙台市は10校））、県立高等学校：5校、特別支援学校：2校）
- (3) 測定分析機関 東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
- (4) 検査結果 3回の検査中、2回目の検査において3校で放射性セシウムが1 Bq/kg 検出された以外は全て不検出

3. 学校保健研修会の開催

教職員等が放射能・放射線に関して、正しい知識を身につけ、学校における放射線等の対応について共通した認識を身につけるため研修会を開催した。

- (1) 時 期 平成23年6月28日（火）
- (2) 場 所 宮城大学
- (3) 対 象 教職員、市町村教育委員会・教育事務所担当者等（約500名参加）
- (4) 講師等 （独）放射線医学総合研究所放射線防護研究センター発達被ばく影響研究プログラムリーダー他

4. 放射性物質に汚染された稲わらを給与された可能性のある牛の肉（以下「汚染された可能性のある牛肉」という。）の学校給食等への使用状況調査

汚染された可能性のある牛肉が流通していることが判明したため、当該牛肉の学校給食等への使用状況を調査するとともに、注意喚起を行った。

(1) 対 象 学校・保育所・幼稚園等の給食

(2) 結 果 使用施設数：11施設、提供食数：8,603食（※放射性物質が確認された牛肉の使用は2施設で提供は1,793食）